

各位

会社名 イチカワ株式会社
 代表者名 代表取締役社長 牛尾 雅孝
 (コード番号 3513 東証第1部)
 問合せ先 総務部長 山崎 敦
 (TEL. 03-3816-1111)

第6次中期経営計画の修正に関するお知らせ

当社は、2021年5月14日開催の取締役会において、2019年5月15日に公表いたしました「第6次中期経営計画(2019年4月～2022年3月)(略称:“NE-21”)」における最終年度の数値目標を下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. “NE-21”修正の内容(2022年3月期)

(単位:百万円)	連結売上高	連結売上高 営業利益率	1株当たり 連結 当期純利益
当初計画(A)	13,500	7.0%	150円
今回修正計画(B)	11,900	4.0%	59円01銭
増減額(B-A)	△1,500	—	—
増減率(%)	△11.1%	—	—
(ご参考)前期実績(2021年3月期)	11,598	2.8%	80円80銭

2. 修正の理由

当社グループは、2019年度を起点とする3ヶ年の中期経営計画“NE-21”をここまで進めてまいりました。「次の飛躍に向けた基盤固めの3年」というスローガンを掲げ、お客様からの信頼を盤石にすることにより、「イチカワ=安定品質」というブランドを確固たるものにするという計画であります。

しかしながら、2020年初頭より拡大した新型コロナウイルス感染症の影響は、社会生活や経済活動に広く影響を及ぼし、ウイズコロナの働き方やデジタル化、ペーパーレス化が進展することで、国内の紙・板紙市場、特に新聞用紙や印刷・情報用紙の需要が“NE-21”を策定した2018年当時の想定よりも速いスピードで縮小し、当初計画した市場環境とは大きく乖離することとなりました。

当社グループといたしましては、上記環境の短期間での回復は難しいと判断し、最終年度にあたる2022年3月期の計画を修正することといたしました。

2021年3月期につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響はありましたが、全社的なコスト削減と堅調な海外向け販売を背景といたしまして、売上高を除く各利益段階では2020年7月31日に開示いたしました連結業績予想の数値を上回る業績を残すことができました。

(単位:百万円)	連結 売上高	連結 営業利益	連結 経常利益	親会社株主に帰属する 連結当期純利益
2021年3月期連結業績予想(A)	11,900	300	400	260
2021年3月期連結業績(B)	11,598	323	489	369
増減額(B-A)	△302	23	89	109
増減率(%)	△2.5%	7.7%	22.2%	41.9%

当社グループは、抄紙プレスパートで使用される抄紙用フェルト、シュープレス用ベルト及びトランスファー用ベルトの3つの製品をすべて開発・製造・販売できる国内唯一、国外でも数社しかないメーカーである強みを活かし、当社グループが提供する最適な製品の組み合わせにより、お客様の抄紙機プレスパート能力を最大化し、その提供を通じて、「省エネルギー、環境にやさしい紙作り」に引き続き貢献してまいります。

以上